



神奈川県

県土整備局 河川下水道部 下水道課

神奈川県流域下水道事業経営ビジョン

(令和3年度経営状況)

令和5年5月

1 令和3年度決算

(1) 業務実績

(単位：人、m³)

項目	令和3年度			令和2年度(B)	増減 A-B
	全体(A)	相模川流域	酒匂川流域		
処 理 人 口	2,079,300	1,808,600	270,700	2,076,800	2,500
流 入 下 水 量	282,754,860	237,677,710	45,077,150	280,493,360	2,261,500

流域下水道事業は、相模川流域では9市3町、酒匂川流域では3市7町で事業を実施しており、令和3年度の処理人口は207万9千人、流入下水量は2億8,275万m³となっています。

(2) 経営状況

令和3年度決算額は次のとおりです。

本県の流域下水道事業では、県及び市町の協議等により、市町維持管理負担金等を、費用に応じて収入しているため、損益は生じません。

今後、施設の老朽化に伴う改築更新等により、事業費の増大が見込まれる中、改築更新の実施時期を調整することによる経費の平準化や財源の確保に努め、安定した経営に取り組んでいきます。

①収益的収支

(単位：百万円)

科目等	令和3年度決算額			令和2年度 決算額(B)	増減 A-B		
	全体(A)	相模川流域	酒匂川流域				
収 益 的 収 入	収 益 的 収 入 a	24,433	19,272	5,160	23,903	530	
	営 業 収 益	営 業 収 益	10,494	7,948	2,545	10,044	450
		市 町 維 持 管 理 負 担 金	10,494	7,948	2,545	10,044	450
		営 業 外 収 益	13,938	11,323	2,615	13,858	80
	そ の 他	長 期 前 受 金 戻 入	11,139	9,060	2,078	11,191	△ 52
		一 般 会 計 繰 入 金	2,786	2,254	532	2,657	129
		そ の 他	13	8	4	10	3
収 益 的 支 出	収 益 的 支 出 b	24,412	19,255	5,156	23,884	528	
	営 業 費 用	営 業 費 用	23,951	18,929	5,022	23,208	743
		維 持 管 理 費	10,482	7,966	2,515	9,924	558
		減 価 償 却 費 等	13,468	10,962	2,506	13,283	185
	営 業 外 費 用	461	326	134	535	△ 74	
	特 別 損 失	0	0	0	139	△ 139	
	消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額 c	20	16	4	19	1	
経 常 損 益 a-b-c	0	0	0	0	0		

(注) 表の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所があります(次頁以降同様)。

＜収益的収入＞

営業収益は、10,494百万円で前年度に比べ、450百万円増加しています。これは市町維持管理負担金等450百万円の増があったことによるものです。

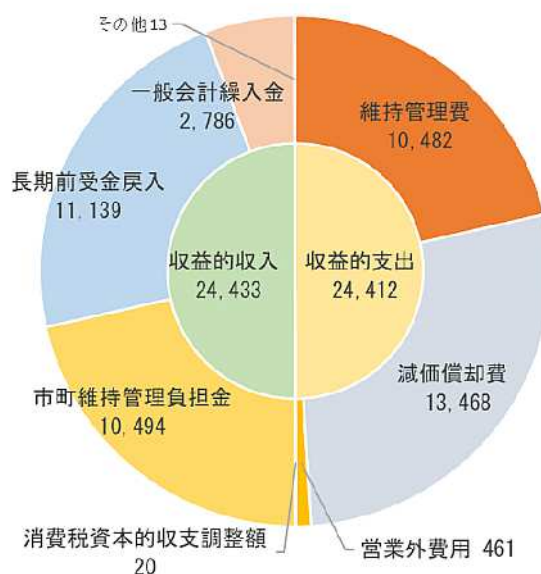
営業外収益は、13,938百万円で前年度に比べ、80百万円増加しています。これは長期前受金戻入52百万円の減があったものの、一般会計繰入金129百万円等の増があったことによるものです。

＜収益的支出＞

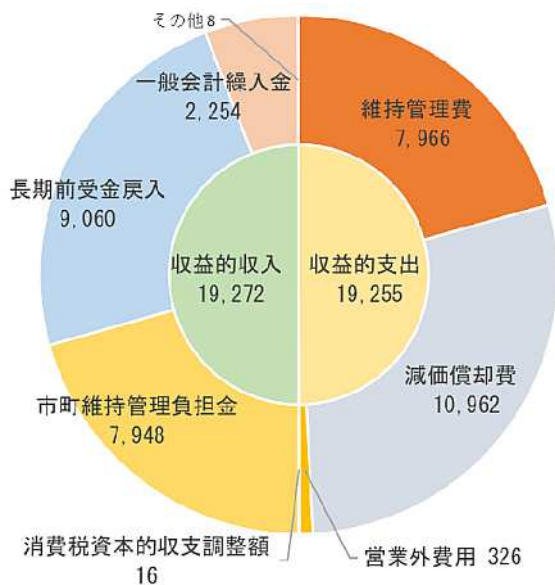
営業費用は、23,951百万円で前年度に比べ、743百万円増加しています。これは維持管理費558百万円、減価償却費等185百万円の増があったことによるものです。

営業外費用は、461百万円で前年度に比べ、74百万円減少しています。これは支払利息の減等があったことによるものです。

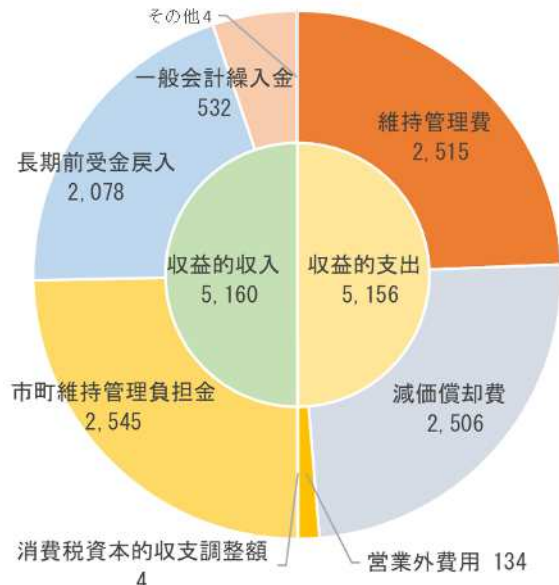
令和3年度決算額（全体）（単位：百万円 以下同じ）



令和3年度決算額（相模川流域）



令和3年度決算額（酒匂川流域）



②資本的収支

(単位：百万円)

科目等	令和3年度決算額			令和2年度 決算額(B)	増減 A-B
	全体(A)	相模川流域	酒匂川流域		
資本的収入 d	5,746	3,719	2,026	6,066	△ 320
(うち当年度財源)	(4,321)	(2,730)	(1,591)	(4,302)	19
(うち翌年度繰越財源) e	(1,424)	(988)	(435)	(1,764)	△ 340
企業債	946	585	361	930	16
(うち当年度財源)	(946)	(585)	(361)	(705)	241
(うち翌年度繰越財源)	(0)	(0)	(0)	(225)	△ 225
国庫補助金	3,113	2,126	986	2,728	385
(うち当年度財源)	(2,438)	(1,649)	(789)	(1,946)	492
(うち翌年度繰越財源)	(674)	(476)	(197)	(781)	△ 107
一般会計繰入金	507	246	261	771	△ 264
(うち当年度財源)	(497)	(237)	(260)	(764)	△ 267
(うち翌年度繰越財源)	(9)	(8)	(1)	(7)	2
市町建設負担金等	1,179	761	417	1,637	△ 458
(うち当年度財源)	(438)	(258)	(180)	(886)	△ 448
(うち翌年度繰越財源)	(740)	(503)	(237)	(751)	△ 11
資本的支出 f	8,420	5,791	2,628	6,413	2,007
建設改良費	6,071	3,965	2,105	4,064	2,007
企業債償還金	2,348	1,825	522	2,349	△ 1
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 4,099	△ 3,061	△ 1,037	△ 2,111	△ 1,988
資本的収支不足額の補填財源	4,099	3,061	1,037	2,111	1,988

〈資本的収入〉

企業債は、946百万円で前年度に比べ、16百万円増加、国庫補助金は、3,113百万円で前年度に比べ、385百万円増加しています。

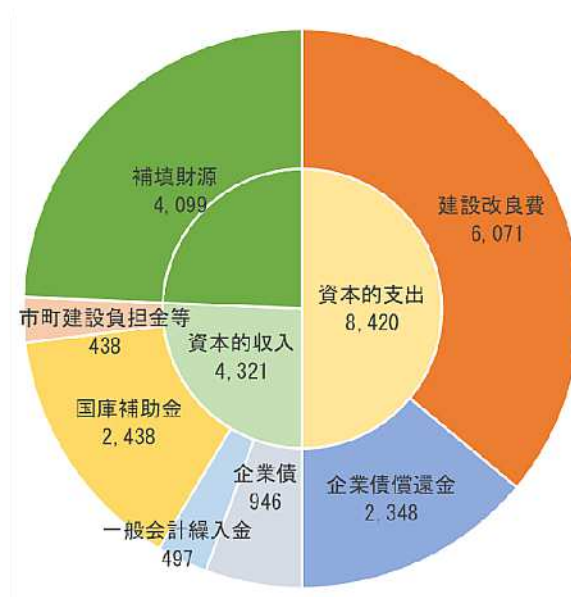
一般会計繰入金は、507百万円で前年度に比べ、264百万円減少、市町建設負担金等は1,179百万円で前年度に比べ、458百万円減少しています。

〈資本的支出〉

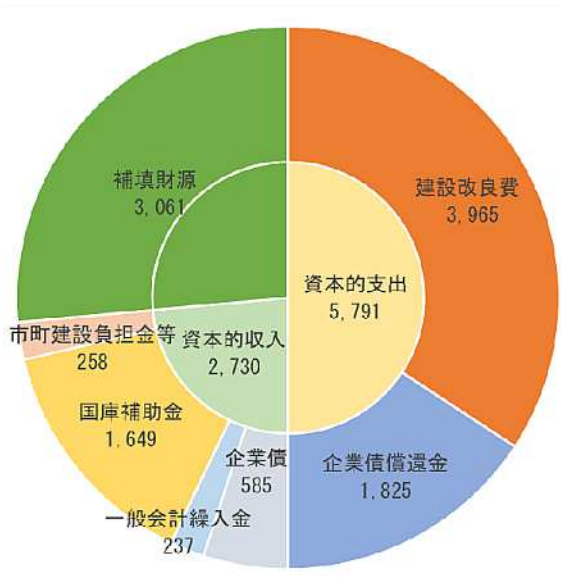
建設改良費は、6,071百万円で前年度に比べ、2,007百万円増加しています。

なお、翌年度繰越財源1,424百万円を除いた、資本的収入の総額は4,321百万円であり、これに対して資本的支出の総額は8,420百万円です。この不足額4,099百万円は、当年度分消費税及び地方消費税収支調整額、当年度損益勘定留保資金及び繰越工事資金により補填しています。

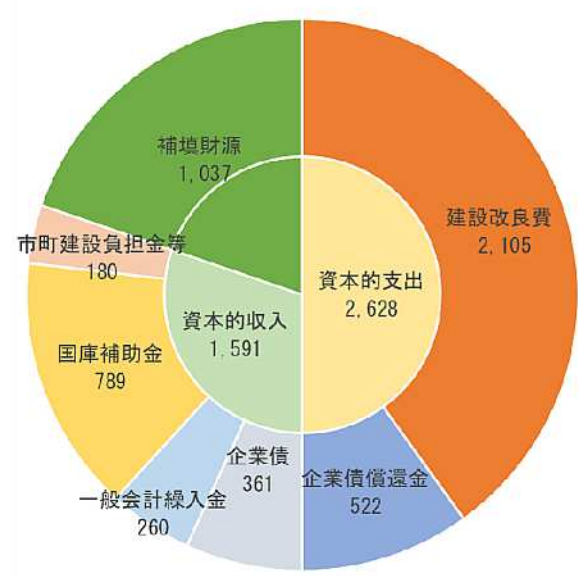
令和3年度決算額（全体）（単位：百万円 以下同じ）



令和3年度決算額（相模川流域）



令和3年度決算額（酒匂川流域）



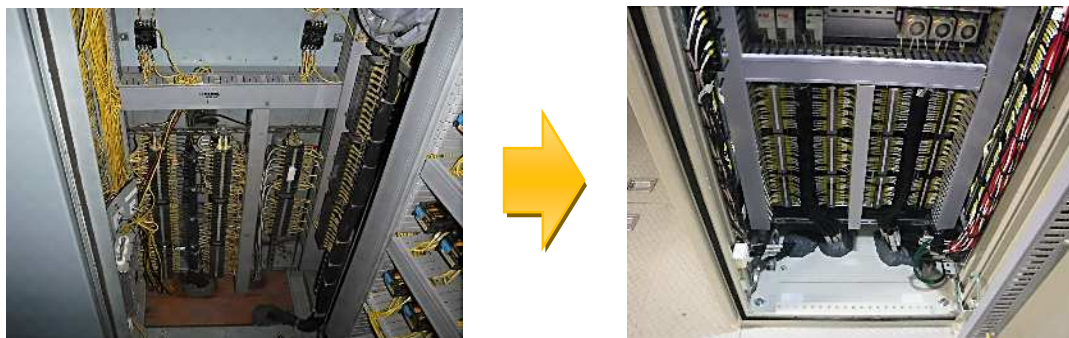
※円グラフで示している資本的収入の額は、令和3年度の資本的支出に対する財源（令和3年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いたもの）。

(3) 主要施策別の決算額

(単位：百万円)

経営ビジョンの主要施策		令和3年度決算額		
		全体	相模川	酒匂川
1 効果的な 老朽化対策	(1) 改築更新の重点化	3,285	3,093	192
	(2) 適切な予防保全と維持管理の効率化			
	(3) 汚泥の集約処理			
2 災害対策の 強化	(1) 施設の耐震化	638	516	122
	(2) 施設の耐水化			
	(3) 下水処理場のネットワーク化			
	(4) 危機管理体制の強化			
3 環境保全の 推進	(1) 水環境の保全	1,249	15	1,234
	(2) 地球温暖化への対応			
合計		5,172	3,624	1,548

【改築更新の重点化】老朽化した電気設備の改築例（四之宮水再生センター）
(改築前) (改築後)



【施設の耐震化】津波逆流防止ゲート（柳島水再生センター）
(津波逆流防止施設) (津波逆流防止ゲート)



2 経営状況を確認するための主な指標(流域下水道)

(1) 汚水処理原価【汚水処理費用(公費負担分を除く)/年間有収水量】

流入下水量1 m³当たりの汚水処理に要した費用を表すもので、維持管理の効率性が確認でき、低い方が望ましい。
(単位: 円<税抜き>)

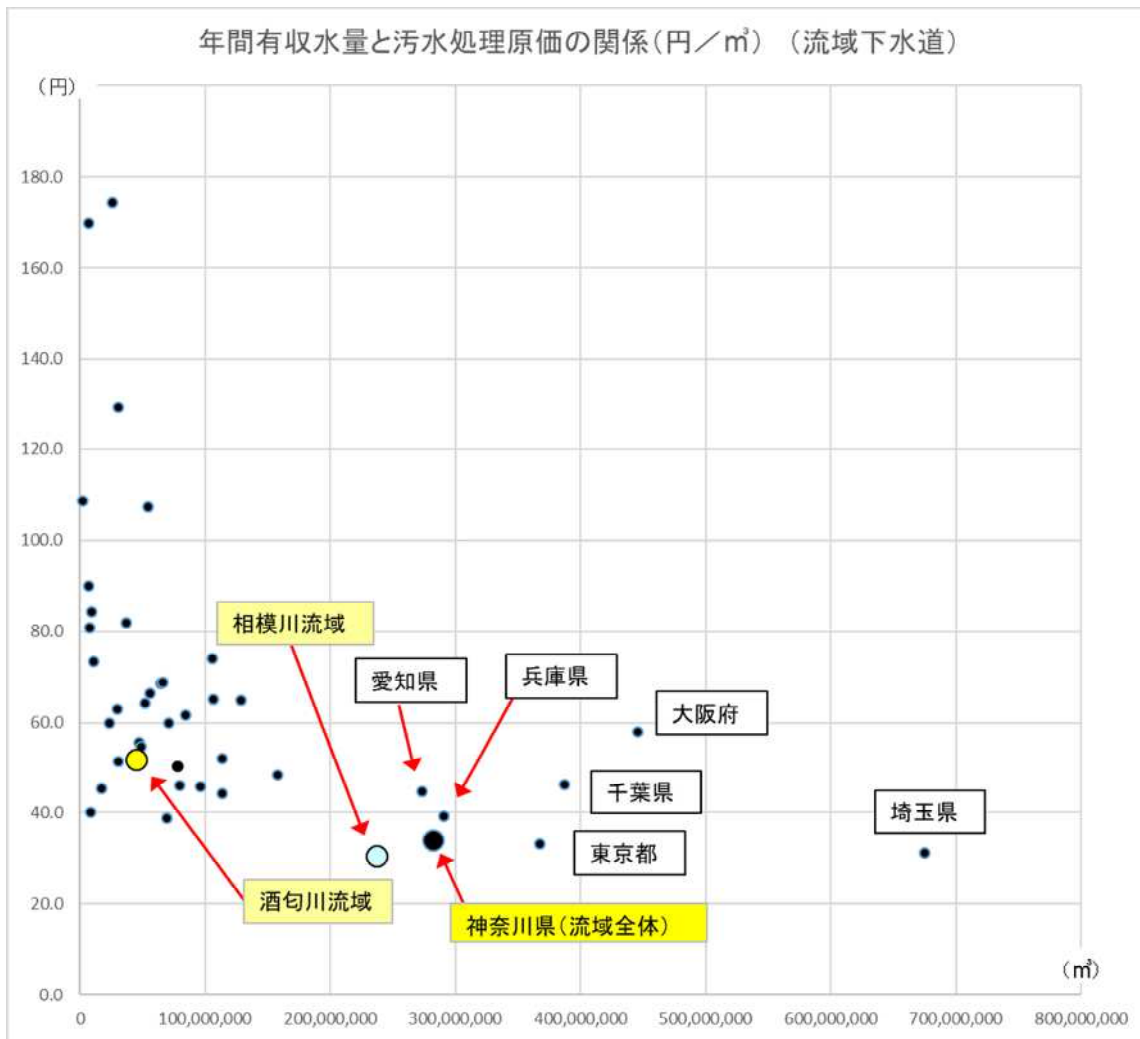
神奈川県			全国平均値	他都府県 (R3決算)						
全体	R3決算		R2決算	(R3決算)	埼玉県	千葉県	東京都	愛知県	大阪府	兵庫県
	相模川流域	酒匂川流域								
33.81	30.42	51.67	32.62	48.89	31.14	46.23	33.10	44.66	57.85	39.15

【指標から分かること】

- ・ 汚水処理原価は、全体として比較的低い値となっていますが、今後も維持管理の効率化を進めていく必要があります。

なお、酒匂川流域が相模川流域よりも高い値となっているのは、スケールメリットの差によるものと考えられます。

(参考) 下記グラフのとおり、規模が大きい(年間有収水量が多い)ほど、汚水処理原価は低くなる傾向があります。



(2) 自己資本構成比率【(資本合計+長期前受金) / 負債資本合計 × 100】

処理場設備等の資産取得を企業債等の負債以外の財源でどの程度賄っているかを表すもので、比率が高いほど、経営の健全性は高いといえます。(単位：%)

神奈川県			全国平均値	他都府県 (R3決算)						
全体	R3決算		R2決算	(R3決算)	埼玉県	千葉県	東京都	愛知県	大阪府	兵庫県
	相模川流域	酒匂川流域								
85.89	85.39	87.16	85.70	82.73	81.48	85.27	91.63	75.48	82.44	77.63

【指標から分かること】

- ・ 流域下水道事業で比較すると、国庫補助や起債の条件が同じである点で、他都府県と大きく変わらないものと考えられますが、全国平均値を若干上回っており、経営の健全性は比較的高いといえます。

(3) 有形固定資産減価償却率

【有形固定資産減価償却累計額 / 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価 × 100】

処理場設備等の減価償却がどの程度進んでいるかを表すもので、数値が高いほど、設備等の老朽化が進んでいます。(単位：%)

神奈川県 [R2]			全国平均値	他都府県 (R3決算)						
全体	R3決算		R2決算	(R3決算)	埼玉県 [H22]	千葉県 [R2]	東京都 [S43]	愛知県 [H31]	大阪府 [H30]	兵庫県 [H30]
	相模川流域	酒匂川流域								
12.99	13.58	10.92	6.64	33.95	41.39	8.24	52.81	11.19	60.89	19.83

※ 都府県名の下のカッコ[]は、公営企業会計に移行した年度です。

【指標から分かること】

- ・ 有形固定資産減価償却率は、法適用企業でないと算出できないため、基本的に公営企業会計移行後の数値となっており、他自治体との単純な比較はできませんが、総務省の経営比較分析表に基づき整理すると上記の数値となります。

なお、令和2年度に公営企業会計に移行した本県の数値は上記のとおりですが、公営企業会計移行前の減価償却を考慮して推計すると下記(参考)の数値となります。

移行年度の近い他都府県との比較や、公営企業会計移行前の減価償却を考慮した値を見ると、本県の資産は老朽化がやや進んでいると考えられ、今後、財政状態の健全性を確保しながら、計画的に改築事業を進めていく必要があります。

(参考)

神奈川県			
全体	R3決算		R2決算
	相模川流域	酒匂川流域	
66.70	67.23	64.83	64.82

※ 出典：全国平均および他都府県の値は、令和3年度地方公営企業決算状況調査表及び経営比較分析表(総務省)によるものです。

【参考】決算と経営ビジョンの比較

経営ビジョンでは、主要施策の実施に係る事業費の算出や汚水量の推計等を行い、公営企業会計の区分による10年間の流域下水道事業の収支の見通しを示していますが、決算額との比較は次のとおりです。

(1) 流域下水道事業全体

(単位：百万円)

科目等		令和3年度 決算額(A)	令和3年度 経営ビジョン(B)	増減 A-B
収 益 的 収 支	収益的収入 a	24,433	26,415	△ 1,982
	営業収益	10,494	12,212	△ 1,718
	市町維持管理負担金	10,494	12,212	△ 1,718
	営業外収益	13,938	14,203	△ 265
	長期前受金戻入	11,139	11,565	△ 426
	一般会計繰入金	2,786	2,632	154
	その他	13	5	8
	収益的支出 b	24,412	26,415	△ 2,003
	営業費用	23,951	25,985	△ 2,034
	維持管理費	10,482	12,230	△ 1,748
減価償却費等	13,468	13,755	△ 287	
営業外費用	461	430	31	
消費税資本的収支調整額 c	20	-	-	
経常損益 a-b-c	0	0	0	
資 本 的 収 支	資本的収入 d	5,746	6,448	△ 702
	企業債	946	1,233	△ 287
	国庫補助金	3,113	3,209	△ 96
	一般会計繰入金	507	755	△ 248
	市町建設負担金等	1,179	1,250	△ 71
	資本的支出 f	8,420	8,638	△ 218
	建設改良費	6,071	6,289	△ 218
企業債償還金	2,348	2,349	△ 1	
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 4,099	△ 2,190	△ 1,909	
資本的収支不足額の補填財源	4,099	2,190	1,909	

(2) 相模川流域下水道事業

(単位：百万円)

科目等		令和3年度決算額 相模(A)	令和3年度経営ビジョン 相模(B)	増減 A-B
収 益 的 収 入	収益的収入 a	19,272	20,858	△ 1,586
	営業収益	7,948	9,401	△ 1,453
	市町維持管理負担金	7,948	9,401	△ 1,453
	営業外収益	11,323	11,457	△ 134
	長期前受金戻入	9,060	9,406	△ 346
	一般会計繰入金	2,254	2,048	206
	その他	8	3	5
	収益的支出 b	19,255	20,858	△ 1,603
	営業費用	18,929	20,569	△ 1,640
	維持管理費	7,966	9,412	△ 1,446
減価償却費等	10,962	11,157	△ 195	
営業外費用	326	288	38	
消費税資本的収支調整額 c	16	-	-	
経常損益 a-b-c	0	0	0	
資 本 的 収 入	資本的収入 d	3,719	4,521	△ 802
	企業債	585	821	△ 236
	国庫補助金	2,126	2,269	△ 143
	一般会計繰入金	246	601	△ 355
	市町建設負担金等	761	830	△ 69
	資本的支出 b	5,791	6,224	△ 433
	建設改良費	3,965	4,394	△ 429
	企業債償還金	1,825	1,830	△ 5
	資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 3,061	△ 1,703	△ 1,358
	資本的収支不足額の補填財源	3,061	1,703	1,358

(3) 酒匂川流域下水道事業

(単位：百万円)

科目等		令和3年度決算額 酒匂(A)	令和3年度経営ビジョン 酒匂(B)	増減 A-B
収 益 的 収 入	収益的収入 a	5,160	5,558	△ 398
	営業収益	2,545	2,811	△ 266
	市町維持管理負担金	2,545	2,811	△ 266
	営業外収益	2,615	2,746	△ 131
	長期前受金戻入	2,078	2,159	△ 81
	一般会計繰入金	532	585	△ 53
	その他	4	2	2
	収益的支出 b	5,156	5,558	△ 402
	営業費用	5,022	5,415	△ 393
	維持管理費	2,515	2,817	△ 302
減価償却費等	2,506	2,598	△ 92	
営業外費用	134	142	△ 8	
消費税資本的収支調整額 c	4	-	4	
経常損益 a-b-c	0	0	0	
資 本 的 収 入	資本的収入 d	2,026	1,927	99
	企業債	361	412	△ 51
	国庫補助金	986	940	46
	一般会計繰入金	261	154	107
	市町建設負担金等	417	420	△ 3
	資本的支出 b	2,628	2,414	214
	建設改良費	2,105	1,895	210
	企業債償還金	522	518	4
	資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 1,037	△ 487	△ 550
	資本的収支不足額の補填財源	1,037	487	550